

R6 高校生ものづくりコンテスト（旋盤作業部門） 島根県大会結果報告

機 械 科

令和6年度の大会が4月19・20日に島根県立江津工業高等学校において実施され、本校から機械科2年田部 瑛君が出場しました。本校の他は江津工業2名、出雲工業2名の計5名が参加し中国大会さながらの緊張感を体験して来ました。



工業高校機械系の生徒が参加するものづくりコンテストにおいては旋盤・溶接・自動車整備等の種目があり、勝ち上がると中国大会・全国大会に出場ができます。ちなみに、島根県大会の課題作品は以下の写真のようになります。

<部品1> + <部品2> = <部品1・2組合せ> 最後にナットを組んで完成！！



黒い鉄の塊から旋盤という工作機械を用いて、ピカピカで、しかも指定された1/100[mm]の寸法の精度で、かつ、2時間30分以内に加工を終了するというこれは、完全に競技です。この延長線上には技能オリンピック等の世界もあり、企業では目の色を変えて取り組んでいる分野でもあります。

田部君は自己ベストを30分短縮して約3時間で完成させましたが、時間オーバーとなりました。しかし、来年に向かって大きな手応えを感じているところです。また、この課題は機械科の旋盤実習で学習する全ての要素が凝縮されているので、面白みもあります。そして、生徒は勿論ですが、専門科の教員にとっても良い研修の場にもなっています。

大会運営に携わっていただいた島根県立江津工業校を始めとする沢山の先生方、そして、講評をしてくださった西部高等技術校の宮川祐一先生、たいへんにお世話になりました。ありがとうございました。

来年度は松江工業が会場校となります。また、お待ちしております。よろしくお願いいたします。